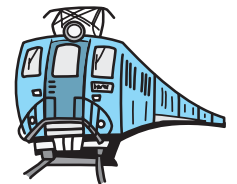


# 使ってお出かけ E.C.C.O気分!

市では、公共交通のあり方を考える場として、平成21年10月、地域の関係者（市民、利用者、交通事業者など）による「竹原市地域公共交通活性化協議会」を設置し、利用環境の改善や利用促進に取り組んでいます。その一環として、公共交通についてもっと知ってもらい、もっと利用してもらうために、竹原市の公共交通について紹介します。



問い合わせ  
竹原市地域公共交通  
活性化協議会事務局  
(企画政策課内)  
☎ 22-0942



さて、ここはどこでしょう？

答えは、3ページ左下♪

## 1 知って・乗って・

### 公共交通①

竹原市には、鉄道やバス、タクシー、船舶といった多様な公共交通が運行しており、自動車を運転することができない高齢者の人々をはじめとした、市民の日常生活（通院や買物など）を支えています。しかし一方で、人口減少や公共交通離れが進み、その利用者は減少する傾向にあります。

これに対して、公共交通を運営する各事業者は、利便性を高め、利用者の減少を食い止める取組みを進めているところ です。

今回は、「鉄道」と「バス」を取り上げ、その歴史と取組みの一部を紹介します。

### 鉄道（JR呉線）

市内を運行する鉄道（JR

呉線）は、昭和2年から建設が始まり、昭和10年に全線開通しました。昭和45年には、当時の国鉄中国支社が、呉線の電化に伴う竹原駅舎改築工事を行い、

#### ▼ JR呉線全線開通までの歴史

|          |                                 |
|----------|---------------------------------|
| 昭和2年11月  | 三呉線（現在のJR呉線）の鉄道建設に着手。           |
| 昭和5年3月   | 三原～須波駅間が開業。                     |
| 昭和6年4月   | 須波～安芸幸崎駅まで延伸開業。                 |
| 昭和7年7月   | 安芸幸崎～竹原駅まで延伸開業し、忠海駅、大乗駅、竹原駅が開業。 |
| 昭和10年2月  | 竹原～三津内海（現：安浦）駅間が開業し、吉名駅が開業。     |
| 昭和10年3月  | 呉～広駅間が開業。                       |
| 昭和10年11月 | 三津内海～広駅間が開業し、呉線（三原～広島駅）が全線開通。   |

現在の竹原駅が完成しました。なお、この頃は、1日平均約4,000人が竹原駅を利用していました（現在…約2,100人）。  
**バリアフリー化推進中!**

現在、平成25年3月の完成を目標として、竹原駅のバリアフリー化事業が実施されています。

地域の実情や利用者の要望に合わせて、鉄道駅は進化しています。



▲現在のJR竹原駅

# バス

竹原市内の路線バスは、竹原自動車会社が、大正6年に設立され、大正7年に運行を開始したと記録されています。その後、昭和17年に芸陽自動車（当時）と合併し、現在の芸陽バス（株）が営業を開始しました。

市内を運行する路線バスは、多くの市民の生活移動を支えており、現在、13の路線を25台の路線バス（うち、高速バス「かぐや姫号」10台）が走っています。もっと便利に、もっと身近に路線バスは、利便性を高めるために進化しています。

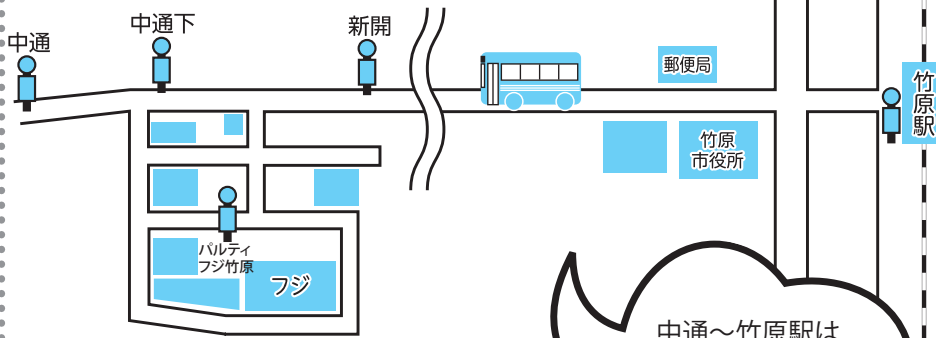
例えば、芸陽バス（株）は平成23年11月にバス路線の一部を編み、竹原駅と中通間を連絡する路線を増便。その結果、新開エリアに立地する店舗での買物などが、より便利になりました（上図）。

また、竹原駅と広島バスセンター間を連絡する「かぐや姫号」も増便し、広島市内への移動も便利になりました。その他にも、「道の駅たけはら」前にバス停を新設し、道の駅での買物客や、町並み保存地区を訪れる観光客などが、バスを利用しやすい環境を整えています。

## エコな移動を実践！

これらの公共交通は、自動車に比べて地球温暖化ガスの排出量が少なく、環境面（地球温暖化対策）で優れた「エコな乗り物」と言われています（下図）。竹原市では、毎月7日を「竹原市公共交通利用促進デー」として、マイカーの使用を極力控え、公共交通の利用や乗り合いなどの移動を心掛けています。「地球に優しい」公共交通。普段利用しない人も、「エコな移動」にチャレンジしてはいかがでしょうか。

## 市内バス路線図



### 利用者の声

- ・新しいバス停ができたので、便利になりました。
- ・「パルティフジ竹原」までバスが通ったので、通勤が楽になりました。
- ・中通から竹原港へ行く路線が以前に比べ増えたので、助かっています。

中通～竹原駅は  
1日に **82** 本も  
運行！（※平日）  
沿線の病院への通院や、  
買い物にも便利です♪

## 検証

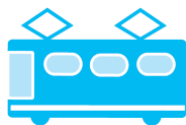
竹原駅～忠海駅を往復（1年間）するときの1人あたりのCO<sub>2</sub>排出量を、自動車、バス、鉄道で比較しました。



1,229kg

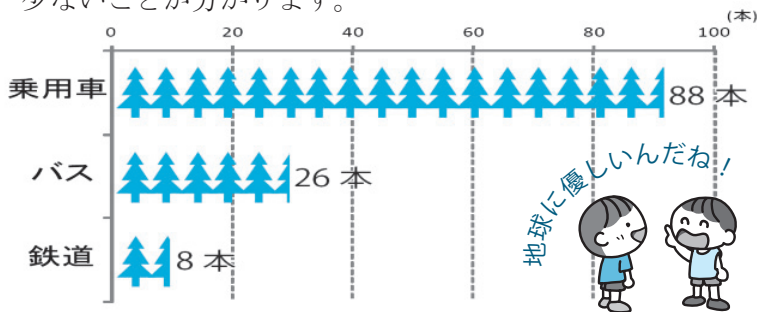


357kg

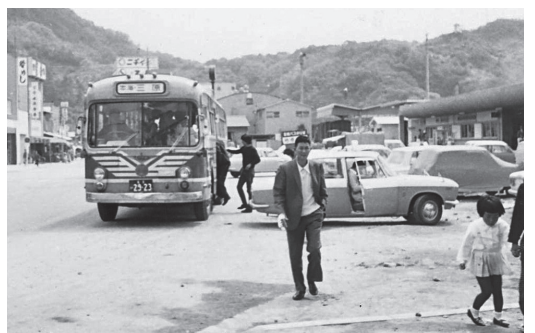


106kg

これを「CO<sub>2</sub>を吸収できる杉の木の本数」で換算すると、バスだと自動車よりも62本分、さらに鉄道だと80本分も少ないことがわかります。



▲芸陽自動車創業当時のバス（昭和初期）



▲竹原町内を走っていた路線バス（昭和30年代）

答 忠海駅（昭和11年）